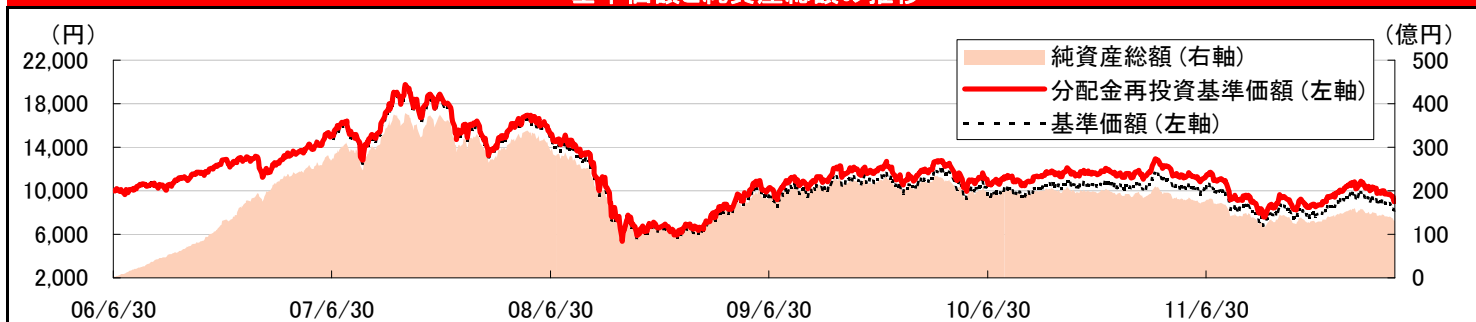


HSBC 新BRICsファンド

追加型投信/海外/株式

基準価額と純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬(税込年1.4175%)控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要

商品分類	追加型投信/海外/株式
設定日	2006年6月30日
信託期間	無期限
決算日	原則、6月29日/年1回決算

基準価額等(2012年5月11日現在)

1万口当たり基準価額(円)	8,172
設定来高値(2007年10月31日)	19,386
設定来安値(2008年10月28日)	5,125
純資産総額(億円)	131.0

*基準価額は信託報酬控除後のものです。

期間別騰落率(税引前)

前週末比	-6.9%	6ヶ月	-3.0%
1ヶ月	-7.5%	12ヶ月	-21.6%
3ヶ月	-10.3%	36ヶ月	-5.6%
		設定来	-9.6%

*基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものと計算しています。騰落率の計算期間は、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月、36ヶ月前の応当日(応当日が休業日の場合はその前営業日)から基準日までの期間としています。

税引前分配金の推移(1万口当たり)

決算期	分配金(円)
第1期(07年6月29日)	300
第2期(08年6月30日)	300
第3期(09年6月29日)	300
第4期(10年6月29日)	300
第5期(11年6月29日)	0
-	-
-	-
-	-
-	-
設定来累計	1,200

*将来の分配金は運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

信託財産の構成(2012年5月11日現在)

HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ	98.5%
HSBC マネープールファンド	0.5%
キャッシュ等	1.0%
合計	100.0%

*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティの状況(2012年3月30日現在)

組入上位銘柄と対純資産組入比率

順位	銘柄名	国名	業種	比率
1	H株指数先物 12年4月	中国	その他	4.3%
2	ガスプロム	ロシア	エネルギー	4.2%
3	中国移动	中国	電気通信サービス	4.1%
4	ペトロプラス PN	ブラジル	エネルギー	3.6%
5	ヴァーレ PN	ブラジル	素材	3.3%
6	イタウ・ユニバンコ・ホールディング PN	ブラジル	金融	3.2%
7	中国建設銀行	中国	金融	2.8%
8	中国海洋石油	中国	エネルギー	2.7%
9	ブラデスコ銀行	ブラジル	金融	2.7%
10	アンベブ	ブラジル	食品・飲料・タバコ	2.4%
組入銘柄数				124

国別投資配分

ブラジル	31.4%
ロシア	14.5%
インド	14.4%
中国	39.7%
キャッシュ等	0.0%
合計	100.0%

*業種分類は世界産業分類基準に基づきます。
*表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

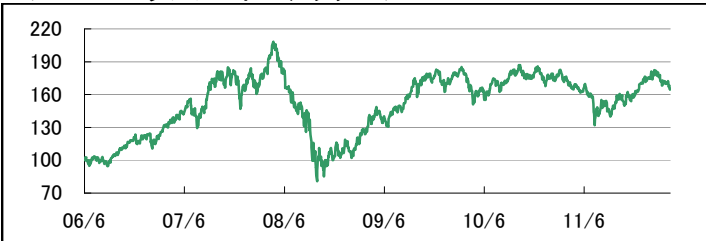
投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC 新BRICsファンド

追加型投信/海外/株式

＜ご参考＞各国株価指数の推移 (設定日(2006年6月30日)～2012年5月10日)

＜MSCIブラジル インデックス＞



＜MSCIロシア インデックス＞



＜MSCIインド インデックス＞



＜MSCIチャイナ インデックス＞



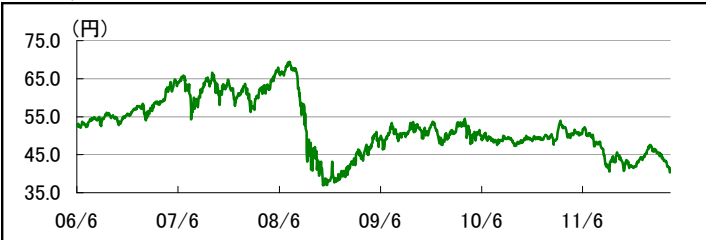
* 上記のグラフは、各国MSCI指数(現地通貨ベース)を、2006年6月30日を100として指数化したものです。また、上記グラフにおける株式指数の動きはBRICs各国の株式市場の動向を示すために作成したものであり、BRICs4ヶ国における実際の株式運用によるファンドの基準価額の推移とは必ずしも一致しません。

* MSCI株式指数とは、MSCI社(モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル・インク)が開発した株式指数です。MSCI社のすべての指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

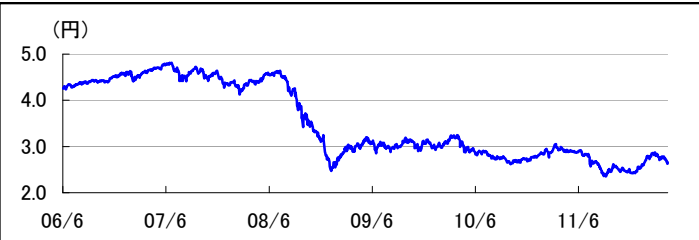
出所:ブルームバーグ

＜ご参考＞関連通貨の推移 (設定日(2006年6月30日)～2012年5月11日)

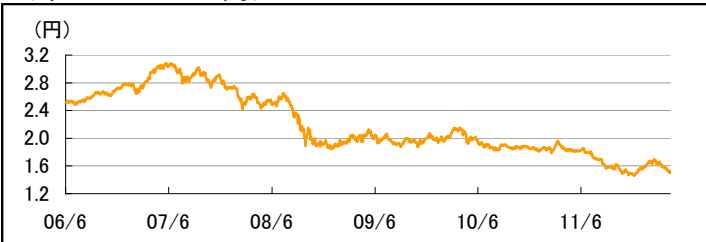
＜ブラジルレアル/円＞



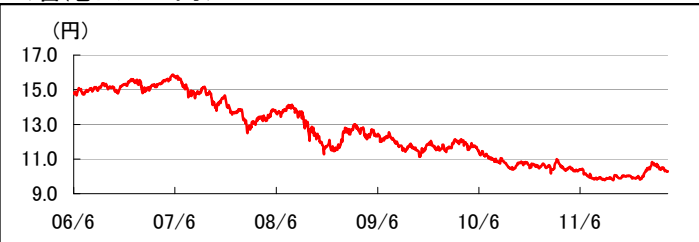
＜ロシアルーブル/円＞



＜インドルピー/円＞



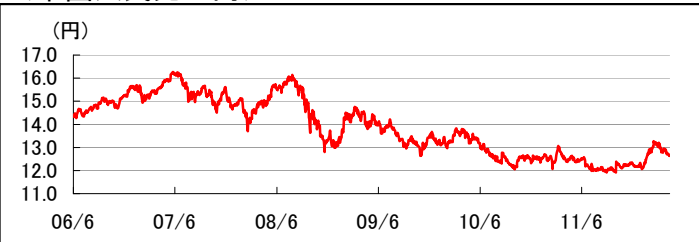
＜香港ドル/円＞



＜米ドル/円＞



＜中国人民元/円＞



出所:投資信託協会

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC 新BRICsファンド

追加型投信/海外/株式

ブラジルコメント*

週間騰落率* <MSCIブラジル インデックス: -3.5%

リアル: -3.4% >

ブラジル株式市場は売り優勢の展開となりました。ギリシャの政局を巡る不透明感、国内では予想を上回る4月のインフレ率の上昇などがマイナスに働きました。通貨リアルは対米ドル、対円で下落しました。リアル安の背景としては、追加利下げ観測、政策当局のリアル安誘導姿勢、またギリシャの政局混迷などを受けた投資家のリスク回避志向の高まり、などが挙げられます。拡大消費者物価指数(IPCA)は、前月比で3月の+0.21%から4月は+0.64%となり、市場予想の+0.59%を上回りました。前年同月比では、3月の+5.24%から4月は+5.10%となり、昨年9月の+7.31%をピークに低下傾向を続けています。

5月4日時点の中銀調査では、市場関係者の予想する今年末の政策金利(現行9.0%)の水準は、4週間前及び1週間前の9.0%から8.5%へと低下しました。この背景としては、中銀が4月の金融政策委員会の議事録で追加利下げを示唆したこと、また5月3日に政府が、貯蓄預金の金利設定ルールを、政策金利の更なる低下を想定したと考えられるものに変更したこと、などが挙げられます。さらに、8日(火)には、バルボザ財務次官が政策金利を含めて同国の金利が一段と低下する可能性がある、と発言しています。市場の一部では政策金利が8.0%まで下がるとの見方も出ています。

ロシアコメント*

週間騰落率* <MSCIロシア インデックス: -4.4%

ルーブル: -3.3% >

ロシア株式市場は値を下げる動きとなりました。フランスの大統領選決選投票、ギリシャ総選挙の結果を受け、両国の財政再建への取り組みが停滞する懸念が広がったこと、原油価格(ブレント原油)が2月初旬の水準まで下落したことなどがマイナス要因となりました。

中央銀行は、10日(木)の金融政策決定会合で、市場の予想通り政策金利を8.0%に据え置きました。中銀は、会合後の声明文で、「インフレリスクと経済成長率見通しから判断して、現在の政策金利は適切な水準である」と述べています。当社では、政策金利は8.0%で年内は据え置くものと予想します。7日(月)に、プーチン氏のロシア大統領就任式が行われました(同氏にとっては4年振りの国家元首復帰)。首相には、メドベージェフ前大統領が指名されました。市場では、財務相などの主要閣僚ポストに誰が就任するかに注目が集まっています。新内閣の顔ぶれは遅くとも5月下旬には判明します。

インドコメント*

週間騰落率* <MSCIインド インデックス: -5.3%

ルピー: -2.0% >

インド株式市場は下落しました。7日(月)、ムカジー財務相が議会で、適格外国機関投資家(FII)への課税強化に繋がる「一般的租税回避防止規定(GAAR)」の施行を1年間先延ばしすると述べたことが、投資家の買い安心感をもたらしましたが、その後は売り優勢の展開となりました。財務相がGAARの他、貴金属への物品税などの増税案を撤回したことで財政赤字拡大の懸念が高まった一方、3月の鉱工業生産指数が前年同月比-3.5%と、市場予想(同+1.7%)を大幅に下回ったことから、インフレと成長のバランスの改善を図ることの難しさが改めて意識されたことが背景として挙げられます。さらに、インド準備銀行(RBI)のゴカーン副総裁が、先月に引き続き「追加利下げの余地は限定的」とコメントしたことも、投資マインドを冷やしました。

RBIは10日(木)、足元のルピー安を抑制する措置の一つとして、輸出業者に対し、受取外貨の50%以上のルピーへの交換義務付けを発表しました。ゴカーンRBI副総裁は「通貨安抑制に中銀が果たせる役割は限定的」と発言しているものの、市場関係者の中には、今後、より大規模な為替介入や規制改革が行われるとの見方もあります。

中国コメント*

週間騰落率* <MSCIチャイナ インデックス: -5.4%

香港ドル: -0.2% >

中国株式市場は下落しました。4月の貿易統計で輸出入共に伸び率が大幅に鈍化したことを受けた中国経済の減速懸念の高まり、秋に予定されている共産党大会が延期される可能性があるとの報道、ギリシャ総選挙の結果を受けた同国情勢の不透明感の高まりなどがマイナス要因となりました。

11日(金)に発表された4月の主要経済指標も概ね景気減速を示すもので、鉱工業生産指数は前年同月比+9.3%と一桁台の伸びにとどまり、小売売上高も同+14.1%と市場予想(同+15.1%)を大きく下回りました。また消費者物価指数は、前年同月比+3.4%と、3月の同+3.6%から伸びが鈍化し、政府の今年の目標の+4%前後を下回りました。

中国経済が予想以上に減速していることを踏まえ、中国人民銀行は12日(土)、預金準備率(銀行が預金総額のうち、人民銀行に預け入れる額の比率)を0.5%引き下げると発表しました(5月18日実施)。今後政策は一段と成長重視になるものと当社では見ており、金融政策については、成長を支えるために流動性を一段と高めることが必要であることから、公開市場操作による流動性供給を続けるとともに、さらに向こう数ヶ月以内に0.5%の預金準備率の引き下げを行うと見えています。

* 各MSCIインデックスの騰落率、各市場の通貨の変化率は、投資対象となっているHSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティの評価基準日に合わせ、原則として各市場前木曜日から木曜日(算出不可日の場合は前営業日)を計算期間として算出しています。また、各MSCIインデックスの騰落率は現地通貨ベースの指数の騰落率です。各市場の通貨の変化率は投資信託協会が発表する対円のレートをを用いて計算しています。

※ 将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

当ファンドの特色とHSBCグループについて

当ファンドの特色

主として、米ドル建てのルクセンブルグ籍証券投資法人*の投資信託証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

*ファンド名は「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC マーケッツ エクイティ クラスJ」です。

なお、略称名は「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」です。

*以下、ブラジル連邦共和国を「ブラジル」、ロシア連邦を「ロシア」、インド共和国を「インド」、中華人民共和国を「中国」といいます。

1. BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)諸国の株式等に投資します。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」への投資を通じて、以下の株式等に投資します。

投資対象企業	・BRICs諸国の企業
投資対象 有価証券	・投資対象企業の株式 ・投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券)等 ※預託証券とは、ある国の会社の株式を海外でも流通させるために、その会社の株式を銀行等に預託し、見合いに海外で発行される証券のことをいいます。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」の投資比率を高位に保つことを基本に運用を行います。
※投資対象ファンド(投資信託証券)は、委託会社の判断により、見直しを行うことがあります。これに伴い、投資対象ファンド以外の投資信託証券に投資することがあります。
- ▶ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2. 「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」の運用は、HSBCグローバル・アセット・マネジメント(フランス)が行います。

- ▶ 「HSBC GIF BRIC マーケッツ エクイティ」は、株式組入比率、国別資産配分を定量分析モデルにより決定します。個別銘柄については、企業収益予想に基づきランキングを行い、配分を調整します。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

HSBCグループについて

《HSBCグループおよびHSBCグローバル・アセット・マネジメント》

- ▶ HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは、英国に本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる80を超える国と地域に約7,500の拠点を擁する世界有数の金融グループです。その歴史は、1865年の創業に遡ります。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、HSBCグループに属する資産運用会社の総称です。ロンドン、パリ、ニューヨーク、サンパウロ、香港、シンガポール、ムンバイ(ボンベイ)、東京等、世界約30の国と地域に拠点を有しています。HSBC投信株式会社は、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの一員です。

※上記は2012年3月24日現在知りうる情報であり、今後変更になることがあります。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なりスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC 新BRICsファンド

追加型投信/海外/株式

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。 新興国市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さく流動性が低いことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。
税制変更リスク	投資対象国によっては、非居住者の有価証券投資に対して金融取引税が課されたり、保有有価証券の売買益に対してキャピタル・ゲイン課税が適用されたりすることがあります。将来、こうした投資対象国の税制が変更された場合など、当該関係法令が改正された場合には、基準価額に影響を受ける可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ 当ファンドの購入の申込みに関しては、上記のリスクをご理解いただき、投資のご判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

留意点

当資料はHSBC投信株式会社が作成した販売用資料です(ただし、販売会社固有情報部分を除きます。同情報の詳細については販売会社にお問い合わせください。)。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。またデータ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。投資信託はリスクを含む商品であり、主に値動きのある有価証券(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は組入有価証券の値動き、為替変動による影響を受けます。したがって元本が保証されるものではありません。投資信託の運用成果(損益)はすべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入のお申込みにあたりましては投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 HSBC投信株式会社	受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社)	販売会社※
当ファンドの委託会社として、信託財産の運用指図等を行います。	当ファンドの受託会社として、信託財産の保管、管理、計算、その他の付随業務等を行います。	当ファンドの販売会社として、募集・販売の取扱い、換金申込の受付、収益分配金の再投資に関する事務、収益分配金、換金代金および償還金の支払等を行います。

※ 販売会社固有情報(金融商品取引業者(登録番号)、加入協会等)については、当資料内「お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は」をご覧ください。販売会社は、投資信託説明書(交付目論見書)の提供場所になります。

照会先

HSBC投信株式会社	電話番号 03-3548-5690	ホームページ www.assetmanagement.hsbc.com/jp
------------	-------------------	---

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

設定・運用: HSBC投信株式会社

HSBC 新BRICsファンド

追加型投信/海外/株式

お申込みに関する要項

お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 *購入代金とは、購入金額(購入価額×購入口数)に購入時手数料(税込)を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。
購入の申込期間	平成23年9月29日から平成24年9月28日まで(当該期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:平成18年6月30日)
繰上償還	ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年6月29日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	5,000億円
公 告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	決算時及び償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて知られたる受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、ブラジル、米国、イギリス、インド、香港の証券取引所の休場日、ルクセンブルグの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
そ の 他	基準価額(1万口当たり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「新BRICs」の略称で掲載されます。

当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時にご負担いただきます。 購入金額に、 3.675%(税抜3.50%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して、 年1.4175%(税抜年1.35%) 運用管理費用は毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 (税抜年1.35%の内訳:委託会社0.55%、販売会社0.75%、受託会社0.05%) 投資対象とする投資信託証券:年0.60%程度(年0.042%~0.60%) 実質的な負担: 年2.0175%(税抜年1.95%) 程度
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 (1) 有価証券売買委託手数料/外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 (2) 振替制度に係る費用/法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用/監査報酬等 ((2)の項目については、純資産総額に対し上限年0.20%として毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。) (3) 投資先投資信託証券における売買委託手数料、監査報酬、カストディーフィー、登録・名義書換代行会社報酬等 ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に上限額等を表記できません。

※当ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

設定・運用:HSBC投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号 加入協会/(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。

HSBC 新BRICsファンド

追加型投信/海外/株式

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

(商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎 五十音順、2012年5月15日現在)

金融商品取引業者名	金融商品 取引 業者	登録 金融 機関	登録番号	日本	社団	一般	一般
				証券業 協会	団法人 日本 証券 投資 顧問業 協会	社団 法人 金融 先物 取引業 協会	社団 法人 第二種 金融 商品 取引業 協会
あかつき証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第67号	○			
いちよし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第24号	○	○		
岩井コスモ証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
HSBC証券会社東京支店	○		関東財務局長(金商)第212号	○		○	
エース証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第6号	○	○		
SMBC日興証券株式会社(「投信スーパーセンター」・「ダイレクトコース専用」)	○		関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	
おきなわ証券株式会社	○		沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
香川証券株式会社	○		四国財務局長(金商)第3号	○			
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第62号	○			
極東証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第65号	○			○
クレディ・スイス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第66号	○	○	○	○
篠山証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	○		関東財務局長(金商)第170号	○			
高木証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第20号	○			
中銀証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第6号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東武証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第120号	○			
内藤証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
奈良証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第25号	○			
野村証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
ばんせい証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第148号	○	○		
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	○		中国財務局長(金商)第20号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸八証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第20号	○			
みずほインベスターズ証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第173号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○		○	
明和証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○		○	
株式会社秋田銀行		○	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行		○	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社池田泉州銀行		○	近畿財務局長(登金)第6号	○		○	
株式会社伊予銀行		○	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社関西アーバン銀行		○	近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
株式会社東和銀行		○	関東財務局長(登金)第60号	○			
株式会社百十四銀行		○	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福井銀行		○	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社北洋銀行		○	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド		○	関東財務局長(登金)第105号	○		○	
株式会社三菱東京UFJ銀行(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社八千代銀行(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第53号	○			
楽天銀行株式会社(インターネットのみ)		○	関東財務局長(登金)第609号	○		○	
三井生命保険株式会社		○	関東財務局長(登金)第122号	○			

*現在、野村証券株式会社では新規のお取扱いをしておりません。

設定・運用:HSBC投信株式会社

投資信託の基準価額は、組入れた証券の値動き(外国証券の場合は更に為替相場の変動)等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。当資料のお取扱い、投資信託のお申込みについては、当資料内「当ファンドの主なリスク」、「留意点」、「お申込みに関する要項」等、および「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご覧ください。